

## 書評

『プログラミング言語 AWK』, A.V.エイホ／B.W.カーニハン／P.J.ワインバーガー著, 足立高徳訳, トッパン, 1989年初版

中尾 浩

プログラミングに挑戦しては敗北の人生を送っている。今までに手を出した言語は、覚えている限りで, awk, Perl, C, C++, Pascal, Ruby, Python, Java, JavaScript, PHP と我ながらあきれるほど手を出してきた。その他, バッチファイルやシェルスクリプト, HTML や XML などもプログラミング言語（コンピュータ言語）の一部と考えれば、よくもこれだけ手を出しては身につかないままである。

これらの中で今でも時々怪しげなプログラムを組むことがあるのは, awk と Perl である。私の研究対象では基本的に文字列処理で、それもその場限り的な使い方をすることが多いので、わざわざ C や C++でコンパイルするほどのこともない。いわゆるスクリプト言語と呼ばれる小さな言語でほとんどの用は済んでしまう。逆に言えば、ちょっとした処理をする場合には小さなスクリプト言語はまことに便利である。

awk は確かに時代遅れの言語である。オブジェクト指向などではもちろんないし、関数も限られているし、今どきの実用的な言語ではない。しかし、個人的にはこの手の言語を勉強することは学生諸君にとって有意義ではないかと思っている。コンパイラではなくインタプリタの特徴だが、とにかく画面上（とはいえ味も素っ気もないコ

ンソール画面だが）すぐさま結果が出てくる。簡易な言語なので、当然プログラムも簡単である（もちろん、複雑なプログラムを書いてもよいが）。たとえばコンマやタブ等で区切られたデータで列を入れ替えるといったことはよくある。いろいろな処理の仕方はあるが、awk ならコマンドプロンプトから

```
$ awk 'print {$2,$1}' targetfile
```

この一行でおわりだ。この程度の処理をするのにわざわざ単体のアプリケーションを作るほどのこともない。そもそも awk はそのような目的のために作られた言語である。

プログラミング言語にはさまざまなものがある。たいていの言語には得意なことと不得意なことがある。プログラミング言語に何を選ぶかは対象とする処理は何か次第である。もしあなたが画像形式の変換をしたいのなら awk はまったく向かない。しかし、テキストデータの処理なら、awk はとても役に立つだろう。

いささか awk の宣伝文となってしまったが、その awk を生み出した 3 人が書いた本書はプログラミングに興味はあるけれど、手を出せないでいる人にとって、コンピュータに処理をさせるとはどういうことかを理解するための最良の道しるべである。なお、awk はオークと読む。